

一枝スタンダード

～ 学力向上プラン ～

一枝小学校では、学力を向上させていくための取組として以下の4つを基本の柱に据えながら推進している。

1. 主題研究の推進
2. 授業改善シートを活用した取組
3. 補充学習の徹底
4. 家庭学習の取組の向上
5. 学習規律の明文化

1. 主題研究の推進

研究テーマ

「基礎・基本の確実な定着を図る算数科授業づくり」

～児童がともに高め合い、学ぶ楽しさを味わう学習をめざして～

本年度の主題研究の推進では、学力のもととなる基礎・基本の確実な定着を図っていくために、話し合い活動を充実させる。

- 基礎・基本の確実な定着のための板書計画・ノート指導
平成29年度の取組から

I 1年の実践

- 話す力を高めるための話し合いを重視した学習過程の工夫
- 話し合いの活動のための書く活動の充実
- 減減法や減加法からペアやグループで考えを伝え合い、より簡単でより速く正確な処理方法を集団での話し合い活動で見いだしていく事例



Ⅱ 2年の実践

- 児童自らが考え、学び合うことができるような学習形態と発問の工夫



乗法と加法を組み合わせた問題場面を
個人思考・ペア思考・集団思考で解きやすい方法を見い
だしていく事例



算数ノートかきかたシート



①まず、日にちと、きょうかしよのページを書き入れようね。

②問題文を書いたり、はったりしよう。

③問題からめあてをとらえていくよ。

めあて

④見通す。
(譬ったことで使えそうなやり方を出し合ってみる。)

⑤見通したことを使って、自分で考えながら解いていくよ。式や図に表したり、絵や言葉でかいたりしてみる。

⑥友だちの考えと自分の考えをくらべてみるよ。
「はやくて、かんたんで、せいかく」なやり方を話し合ってみるよ。



友

算数ノートの書き方をしようかいうるよ。



⑦「はやくて、かんたんで、せいかく」なやり方を書き表してまとめるよ。

まとめ

⑧まとめは、めあてのことばにつながるようにして、書こうね。

⑨練習問題をしてみるよ。

練

ふ

⑩さいごは、この単元の学習をふりかえるよ。何かを使っているようになったことや、これからもってみたいことを書いてみよう。



問～問題

見～見通し

自～自分の考え

友～友だちの考え

練～練習問題(通用題)

ふ～ふりかえり

2. 授業改善シートを活用した取組

北九州スタンダード「わかる授業づくり5つのポイント」を
一枝スタンダードに位置付ける

ア 「学び合いの基盤」

イ 板書には、必ず「めあて」、「まとめ」と「振り返り」

ウ 子どもの思考を深める「発問」の工夫

エ 1単位時間の中に「話し合う活動」と「書く活動」

オ 「まとめ」と「振り返り」 終わりの5分の確保

○ 全国学調, 北九学調, CRT等の分析と実態の共有

○ 学力向上に向けた授業改善 (教務主任による算数科 6月5日)

3. 補充学習の徹底

- 学力補充の時間の確保
 - ・ 朝の帯どり(一枝タイム)と昼の帯どり
～学年, 学級の児童の実態に即した課題から内容を設定～
- 学力定着シートの活用
 - ・ 北九州市学力定着サポートシステムから基礎・基本定着問題集, 診断問題の実施
 - ・ 学習のきろくを集計結果に反映させた自己分析データの活用

4. 家庭学習の取組の向上

○ 学習時間の習慣化

(10分×学年+10分)

- 「一枝小学校家庭学習の約束」が守られるように、連絡帳や通信等で、適宜保護者に伝える。

○ 補充を取り入れた「自学ノート」の活用

北九州市立一枝小学校 3年生

家でい学しゅうのやくそく

家庭学習は、学校で学んだことをもう一度ふり返り、たしかな学力を身に付けるための学習です。毎日こつこつと続けることが学力につながります。まよ、できることからつけていきましょう。

しょうずな家でい学しゅうのポイント

- 毎日、つけてでする。
- ティしはなげす。
- よいし、たいて、つくまじむかう。

家でい学しゅうのしんじ

- ① しゅくたいでする。
- ② 自学しゅうをする。

学習時間の目安
40分以上

教科書の「ひまわり」を音読する。
かん字をノートにねんしゅうする。
ローマ字をノートにねんしゅうする。
国語じてんをひらいて、ことばのゆめをしるべる。
たし算やひき算、かけ算のひき算をノートにねんしゅうする。
わり算をノートにねんしゅうする。
コンパスをつかって、ひるいさならよさをかく。
ひるいさならよさをひく本を読む。
日記を書く。
しんぶんや新聞のめんをよする。
なせ科の地図帳をよす。

あうちの方へ ～3年生で身に付けたい方～

1. 20分間の家庭学習のすけで活動、先んごんしんがきである。
2. 国語科をよして、国語をよすことができる。
3. 算数科でたし算やひき算のたし算をよすことができる。
4. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
5. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
6. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
7. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
8. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
9. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
10. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。

北九州市立一枝小学校 4年生

家庭学習のやくそく

家庭学習は、学校で学んだことをもう一度ふり返り、たしかな学力を身に付けるための学習です。毎日こつこつと続けることが学力につながります。まよ、できることからつけていきましょう。

上手な家庭学習のポイント

- 毎日、つけてでする。
- ティしはなげす。
- よいし、たいて、つくまじむかう。

家庭学習のしんじ

- ① 本題をよす。
- ② 自主学習をよす。

学習時間の目安
50分以上

教科書の「ひまわり」を音読する。
かん字をノートに練習する。
ローマ字をノートに練習する。
国語じてんや算数じてんをひらいて、ことばのゆめをしるべる。
かけ算のたし算やひき算のひき算をノートに練習する。
手紙のたし算やひき算のひき算をノートに練習する。
分度器をよす。
算数のたし算やひき算のたし算をよす。
ひるいさならよさをひく本をよす。
日記を書く。

あうちの方へ ～4年生で身に付けたい方～

1. 20分間の家庭学習のすけで活動、先んごんしんがきである。
2. 国語科や算数科をよして、国語や算数をよすことができる。
3. ローマ字をよすことができる。
4. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
5. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
6. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
7. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
8. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
9. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。
10. 算数のたし算やひき算のたし算をよすことができる。

5. 学習規律の明文化

○ 学習道具の共通化

- 筆箱の中の文房具を当たり前前にそろえる。

(鉛筆5本・赤鉛筆1本・青鉛筆1本・消しゴム1個・ミニ定規1枚)

- シャープペンシル, ボールペン, 蛍光ペン, 鉛筆削り器等は持ってこない。
- 下じきを使う。
- 机上は筆箱を前方, 教科書・ノートを左右に配置して整える。

○ 学習態度の適正化

- 鉛筆は家で必ず削る。(学習中は削らない)
- 学習中は着席する。(私語はしない)
- 話(発言)は相手の目を見て最後まで聞く。